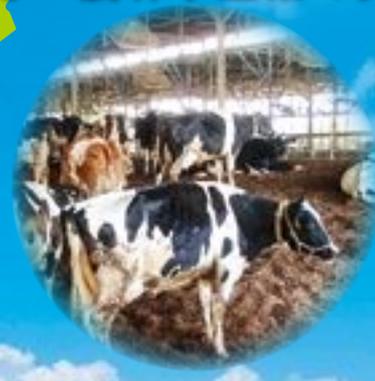




第2次 大分市農林水産業 振興基本計画

概要版

人を育む ものが輝く 地域が活きる 農林水産業の実現



大分市

令和4年3月

1 計画策定の趣旨

本計画は、平成28年12月に策定した「大分市農林水産業振興基本計画」が令和3年度(2021年度)に計画期間が終了することから、農林水産業を取り巻く現状と将来の動向を見据え、農業、林業、水産業を総合的かつ横断的に推進し、基幹産業として持続的に発展させるための第2次計画を策定します。

2 計画期間

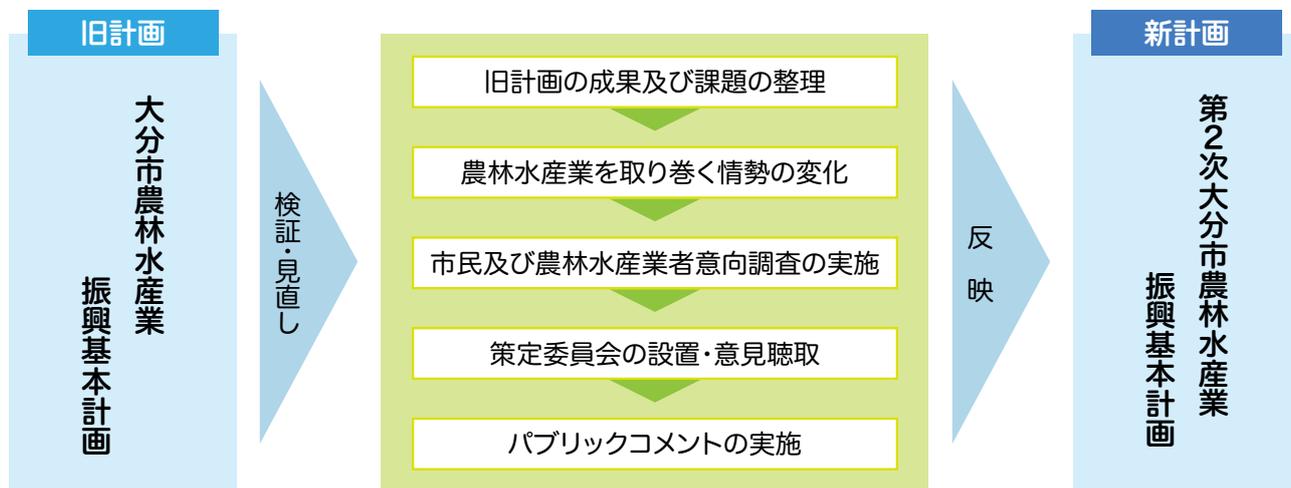
令和4年4月から令和9年3月(5年間)

3 計画の位置付け

本計画は、市政運営の基本指針となる「大分市総合計画」、国が策定している「食料・農業・農村基本計画」、大分県が策定している「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」等の内容を踏まえ、本市の農林水産業を総合的かつ計画的に推進するための指針を示したものです。

また、本市の「食育推進計画」、「環境基本計画」、「商工業振興計画」、「観光戦略プラン」等の関連計画との整合を図りながら、計画の実現を図っていきます。

4 農林水産業振興基本計画策定のプロセス



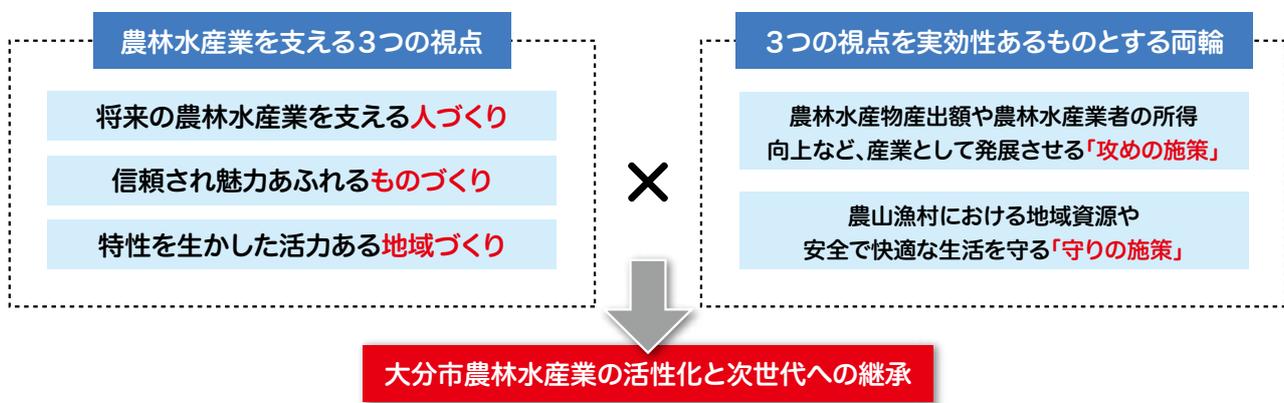
5 旧計画の主な成果及び課題

	内 容	関連する目標指標	R2実績値	R3目標値
成果	・ 研修支援などによる新規就業者の確保	新規就業者数(累積)	172人	145人
	・ 高性能機械導入などによる木材産出量の増加	年間木材産出量	26,000m ³	25,000m ³
	・ 種苗放流などによる水産資源の増大(海面)	年間種苗放流数	127千尾	117千尾
課題	・ 重点推進品目の産出額向上(農業)	年間産出額	4,653百万円	5,075百万円
	・ 計画的な間伐などによる森林整備	年間間伐面積	90ha	200ha
	・ 関あじ・関さばの産出量、産出額の向上	年間産出量	147t	270t

6 農林水産業を取り巻く情勢の変化

- ◆気候変動や自然災害の影響(頻発する自然災害や南海トラフ地震への対応など)
- ◆高齢化や人口減少による食料・農林水産業・農山漁村への影響
- ◆グローバル化の進展や国際的な枠組みへの対応(TPPやSDGsへの対応など)
- ◆食に対して多様化する消費者ニーズへの対応(働き方改革、ライフスタイルの変化など)
- ◆世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響(アフターコロナへの対応など)

7 計画の構成



8 新計画の主な取組と目標値

項目	内容	攻め	守り
人づくり	担い手の確保・育成	○	○
	・技術習得や施設・機械導入などに対する支援の強化 (新規就業者数 R2年度:172人→R8年度:355人)		
ものづくり	・集落営農組織間の連携強化や地域農業サポート機構への支援 (担い手不在集落数 R2年度:149集落→R8年度:90集落)		○
	・IoTなど先進技術導入による作業の省力化と効率化 (スマート農林水産業取組件数 R2年度:11件→R8年度:55件)	○	
	・森林環境譲与税を活用した計画的な森林整備と地域材利活用の推進 (地域材利用量 R2年度:6,750m ³ →R8年度:7,500m ³)	○	○
	・市産品、加工品のブランド力とPRの強化(6次産業化、農商工連携) (6次産業化商品数 R2年度:67品目→R8年度:95品目)	○	
地域づくり	・増殖場造成による関あじ・関さばなどの水産資源の増大 (増殖場造成面積 R2年度:81,030m ² →R8年度:129,000m ²)	○	
	農山漁村の機能維持		○
	・ため池の適正管理など災害への対応と被災からの早期復旧 (ため池再整備数 R2年度:0箇所→R8年度:12箇所)		
	・地域ぐるみによる防護柵の設置を支援 (鳥獣被害防護柵設置距離 R2年度:506km→R8年度:1,050km)		○

9 施策の体系

1 将来の農林水産業を支える人づくり

(1) 多様な担い手の確保・育成	
①	持続可能な経営体の育成
②	地域を守る担い手の育成
③	新たな担い手の確保・育成
④	青年・後継者の育成
⑤	女性・高齢者の活動支援
(2) 「食」を支える農林水産業の理解の促進	
①	生産者と消費者等との交流促進や情報発信
②	食育・木育の推進

2 信頼され魅力あふれるものづくり

(1) ニーズに即した生産・供給体制の整備	
①	農産物の生産振興
②	林産物の生産振興
③	水産物の生産振興
④	災害に強い生産基盤の整備
(2) 安全で環境に配慮した農林水産業の振興	
①	安全・安心な生産出荷体制の強化
②	資源循環型農林水産業の取組推進
③	再生可能エネルギー等の利活用推進
(3) 市産農林水産物の利用・流通拡大の推進	
①	地産地消の推進
②	地域ブランド力の構築と強化

3 特性を生かした活力ある地域づくり

(1) 農山漁村環境の整備と維持管理	
①	生産基盤の整備
②	快適な農山漁村環境の整備
(2) 優良農地等の保全と効率的利用の促進	
①	優良農地の保全
②	農地の利用集積及び効率的利用の促進
③	遊休農地の発生防止・解消と有効活用促進
(3) 都市との交流による農山漁村の活性化	
①	地域資源を生かした交流促進
(4) 多面的機能の維持発揮	
①	集落ぐるみの農地の保全
②	森林の保全
③	漁場・水産資源の保全
(5) 有害鳥獣被害対策	
①	環境整備の推進
②	予防対策の推進
③	捕獲対策の推進
④	獣肉利活用の促進

10 重点推進品目

本市の特性を生かした経営が行われており、将来にわたり、攻めの農林水産業を実践するためのブランド力、産地間競争力の向上が期待できる品目

《農業》 おおば、にら、みつば、いちご、水耕せり、パセリ、ピーマン
乳用牛(生乳)、肉用牛(和牛子牛)

《林業》 木材、乾椎茸

《水産業》 関あじ・関さば、イサキ

◎重点的に実施する施策

- ◆新規就業者の経営定着化
- ◆産地の拡充と市場競争力の強化
- ◆農地・園芸施設の集約化
- ◆農林水産物の6次産業化・ブランド化
- ◆ロボット、AI、IoT等の先進技術の導入
- ◆低コストで効率的な森林の整備
- ◆林道等の生産基盤の整備
- ◆魚礁漁場・増殖場の整備

11 施策の概要

1 将来の農林水産業を支える人づくり

重点推進項目

- ◎新規就業者等新たな担い手の確保・育成
- ◎集落営農組織の育成及び組織間の連携強化

(1) 多様な担い手の確保・育成

基本的な方向

- ◆農林水産業者の所得向上、労働時間の削減などに向けた経営改善や経営安定対策の推進
- ◆地域農業をけん引する集落営農組織の育成及び組織間の連携強化
- ◆新規就業者や他産業から参入する企業など新たな担い手の確保・育成
- ◆将来の農林水産業を担う青年・後継者や農林水産業を支える高齢者・女性の活動支援
- ◆自然災害等の緊急時や想定外の事態における経営の安定化に向けた支援



(2) 「食」を支える農林水産業の理解の促進

基本的な方向

- ◆「食」と農林水産業のつながりについて、理解を深めてもらうための取組の推進
- ◆農林水産業が有する多面的機能に対する市民の広い理解や意識の醸成



主な施策の実施スケジュール

体系		主な施策	重点的に取り組む時期			「攻め」 の施策	「守り」 の施策	
			前期	中期	後期			
1 将来の農林水産業を支える人づくり	(1)多様な担い手の確保・育成	①持続可能な経営体の育成	制度資金の利活用促進や農産物に対する価格補填などの経営安定対策支援			○		
			農協、森林組合、漁協など農林水産業関係団体との連携強化と活動支援			○		
		②地域を守る担い手の育成	集落営農組織など営農組織の農業機械等の導入に対する支援					◎
			集落営農法人連絡協議会の運営に必要な経費に対する支援					◎
		③新たな担い手の確保・育成	就農・就業相談会の開催及び出展				◎	
			農業研修施設の拡充に対する支援			●	◎	
			就業希望者や新規就業者への研修に必要な費用や施設・機械の導入に対する支援				◎	
			農業参入企業への施設・機械の導入に対する支援		●		◎	
			農業参入企業や新規就農者の新たな雇用確保に対する支援		●		◎	
		④青年・後継者の育成	農業後継者等が高齢農業者の経営を継承するための支援		●	●	◎	
			若手農業者組織が主体的に行う活動に対する支援				○	
		⑤女性・高齢者の活動支援	直販所などに農産物を出荷するための栽培技術習得に必要な研修の実施					○
	直販所などへ農産物を出荷するためのビニールハウスや機械導入に対する支援		●	●			○	
	女性就農者の確保のための施設・機械等の導入補助		●			○		
	家族間における役割分担の明確化など、働きやすい就労環境づくりの支援					○		
	(2)「食」を支える農林水産業の理解の促進	①生産者と消費者等との交流促進や情報発信	地産地消サポーター制度の周知啓発及び交流イベントの開催				○	
			「おおいたマルシェ」などの「食」に関するイベントの開催				○	
		②食育・木育の推進	交流給食などによる学校給食や家庭での農林水産物の消費拡大				○	
			農産物の収穫体験や木育フェス開催による、農林水産業に親しむ機会の創出					○

◎ … 大きく関係するもの

○ … 関係するもの

2 信頼され魅力あふれるものづくり

重点推進項目

- ◎重点推進品目の生産拡大
- ◎園芸団地整備及び集約化による産地の拡大
- ◎スマート農林水産業の取組
- ◎農林水産物の6次産業化・ブランド化
- ◎地産地消の取組強化
- ◎地域材(市産材)の利活用
- ◎水産資源の維持増大

(1) ニーズに即した生産・供給体制の整備

基本的な方向

- ◆重点推進品目を中心とした生産拡大や省力化・低コスト化による産地間競争力の強化
- ◆安全・安心な農林水産物供給体制の強化
- ◆災害に強い生産基盤や施設整備の推進
- ◆生産技術の向上や先進技術導入等による高品質・安定生産の推進
- ◆適正な造林・育林の促進及び木材の生産拡大の推進
- ◆水産資源の保全と安定した漁業生産の推進



(2) 安全で環境に配慮した農林水産業の振興

基本的な方向

- ◆生産から出荷において発生するさまざまなリスクや環境負荷の低減による安全で環境に配慮した農林水産業の推進



(3) 市産農林水産物の利用・流通拡大の推進

基本的な方向

- ◆市産農林水産物の販路開拓及び地産地消の拡大
- ◆6次産業化や農商工連携による加工品開発及び販路拡大の推進
- ◆農林水産物等を活用した加工品のブランド化の推進



主な施策の実施スケジュール

体系		主な施策	重点的に取り組む時期			「攻め」の施策	「守り」の施策	
			前期	中期	後期			
2 信 頼 さ れ 魅 力 あ ふ れ る も の づ く り	(1)ニーズに即した生産・供給体制の整備	①農産物の生産振興	認定農業者等の栽培施設の新設や拡充、機械導入等に対する支援	●	●		◎	
			農産物集出荷施設など流通関連施設の整備に対する支援			●	◎	
			IoT等を装備した施設や機械の導入などスマート農業への取組に対する支援		●	●	◎	
			果樹農家の苗木や施設の導入等に対する支援				○	
			優良家畜の導入や牛舎、省力化機械などの整備に対する支援	●			◎	
		②林産物の生産振興	市産材を利用した戸建木造住宅建築等に対する支援				◎	
			高性能林業機械の購入等に対する補助				◎	
			原木椎茸生産のためのほだ木造成(種駒購入)や施設・機材導入に対する支援				◎	
		③水産物の生産振興	各漁協が実施する種苗放流に対する支援				◎	
			④災害に強い生産基盤の整備	災害に備えた農業用ため池の整備補修	●	●	●	
	大雨等により被災した農地、農業用施設及び林業用施設等の復旧	●		●	●		◎	
	台風等の影響による港内の波を抑えるための防波堤の改良	●					◎	
	(2)安全で環境に配慮した農林水産業の振興	①安全・安心な生産出荷体制の強化	家畜法定伝染病及び特定疾病の発生防止に必要な資材の購入に対する支援					◎
			減化学肥料や減化学合成農薬栽培に必要な資材の利活用促進					○
		②資源循環型農林水産業の取組推進	良質な堆肥生産による資源の有効活用のための資材購入に対する支援					○
	③再生可能エネルギー等の利活用推進	様々な再生可能エネルギーの農林水産業への活用の検討					◎	
	(3)市産農林水産物の利用・流通拡大の推進	①地産地消の推進	市産農林水産物や食の魅力の発信及び中食、外食における活用推進	●			◎	
			市産材を利用した戸建木造住宅建築等に対する支援				◎	
		②地域ブランド力の構築と強化	市産農林水産物等を活用した加工品の商品開発や販路拡大等の支援及び大分市ブランドへの認証				◎	
			学校給食での米粉パン導入支援や米粉料理教室の開催による米粉の消費拡大				○	

◎ … 大きく関係するもの

○ … 関係するもの

3 特性を生かした活力ある地域づくり

重点推進項目

- ◎生産基盤の整備
- ◎担い手への農地集積
- ◎有害鳥獣の被害軽減

(1) 農山漁村環境の整備と維持管理

基本的な方向

- ◆農山漁村における地域の抱える課題解決に向けた効率的な作業による生産性の向上と防災機能を有する生産基盤の整備推進
- ◆農山漁村の豊かな自然環境や美しい景観の保全と快適な生活環境の確保

(2) 優良農地等の保全と効率的利用の促進

基本的な方向

- ◆農業振興地域整備計画に定める優良農地の確保と農地の適正利用の推進
- ◆農地の有効活用による地域の担い手の経営安定や遊休農地の発生防止

(3) 都市との交流による農山漁村の活性化

基本的な方向

- ◆魅力ある地域資源を活用した都市住民と農林水産業者との交流による農山漁村の活性化
- ◆農林水産業と観光産業の連携による地域の活性化



(4) 多面的機能の維持発揮

基本的な方向

- ◆国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、景観の形成、災害の発生防止、伝統文化の継承などの多面的機能の維持・発揮

(5) 有害鳥獣被害対策

基本的な方向

- ◆有害鳥獣による農林水産物や地域住民に対する被害対策の推進
- ◆周辺自治体との連携による効果的・効率的な有害鳥獣被害対策の強化
- ◆野生鳥獣の肉(ジビエ)の利活用の促進



主な施策の実施スケジュール

体系		主な施策	重点的に取り組む時期			「攻め」の施策	「守り」の施策		
			前期	中期	後期				
3 特性を生かした活力ある地域づくり	(1) 農山漁村環境の整備と維持管理	①生産基盤の整備	水田畑地化、ほ場の大区画化や汎用化、灌漑施設等の基盤整備	●	●		◎		
			農業の生産性向上に必要な農道、農業用水路の改良、改修及び維持管理	●	●	●	◎		
			森林整備や木材輸送のための林道、作業道の整備と維持管理				○		
			越波による浸水被害の防止等に必要な護岸、離岸堤等の整備や改修	●				◎	
	(2) 優良農地等の保全と効率的利用の促進	②快適な農山漁村環境の整備	老朽化等により営農活動に支障をきたす農業用排水施設の改修					◎	
			①優良農地の保全	農業振興地域整備計画の適正な運用					◎
	②農地の利用集積及び効率的利用の促進	担い手等への農地集積に協力した地域や地権者などに対する支援					○		
		担い手への農地の集積・集約化、新規参入の促進など、地域農業の振興のための活動					○		
	③遊休農地の発生防止・解消と有効活用の促進	担い手不在集落解消に向けた地域農業サポート機構の活動に対する支援		●	●		◎		
		遊休農地の有効活用に向けた農地の利用状況調査及び地権者などに対する利用意向調査					◎		
	(3) 都市との交流による農山漁村の活性化	①地域資源を生かした交流促進	農産物収穫体験などの都市農村交流を実施する個人や団体に対する支援					○	
			農業ボランティアとボランティアを受け入れる農家とのマッチング					○	
			森林セラピー体験ツアーや高崎山山開きなどのイベントの実施					○	
	(4) 多面的機能の維持発揮	①集落ぐるみの農地の保全	集落における担い手の確保及び農地利用に関する合意形成の促進		●	●		○	
			農村地域における農地や農道、水路など、農村環境の保全等の集落共同活動に対する支援					◎	
		②森林の保全	市有林の維持管理や私有林の間伐などに対する支援					◎	
			③漁場・水産資源の保全	漁協が実施する種苗放流等に対する支援					◎
				資源量及び漁獲量の増大を図るための増殖礁の設置					◎
	(5) 有害鳥獣被害対策	①環境整備の推進	鳥獣害対策アドバイザーの養成や野生動物の誘引除去作業(草刈り等)等地域ぐるみでの被害軽減対策					◎	
			鳥獣被害防護柵の資材購入費用に対する補助やドローンなどを活用した有害鳥獣の追い払い					◎	
狩猟免許取得や箱わな購入に対する支援						◎			
イベント等を通じたジビエ料理の普及促進						◎			

12 主な目標指標

重点推進項目

基本視点	項目	R2年度(現状値)	R8年度(目標値)	
将来の農 林水産業 を支える 人づくり	集落営農組織数	23組織	30組織	
	うち法人数	10法人	15法人	
	新規 就業 者数	農業 ※H26年度からの累積	115人	230人
		林業(林業事業体における新規就業者数) ※H27年度からの累積	36人	80人
		水産業(1ターン等就業者数) ※H22年度からの累積	21人	45人
	他産業からの農業参入数	16社	22社	
認定新規就農者数	19人	55人		
信頼され 魅力あふ れるもの づくり	スマート農林水産業取組件数 ※R2年度からの累積	11件	55件	
	増殖場造成面積	81,030m ²	129,000m ²	
	種苗放流数(海面) ※H28年度からの累積	623千尾	1,200千尾	
	種苗放流数(内水面) ※H28年度からの累積	11,334kg	23,000kg	
	直販所販売金額	30.3億円	33.5億円	
	6次産業化商品数(補助事業支援商品数)	67品	95品	
	大分市ブランド(OitaBirth)認証数	41品	70品	
	大分市ブランド(OitaBirth)販売額 ※1認証加工品当たりの平均	2,693千円	3,300千円	
特性を生 かした活 力ある地 域づくり	地域材利用量(主要製品市場における地域材製品の市内向け出荷量)	6,750m ³	7,500m ³	
	生産基盤を整備する地区数(農業) ※R2年度からの累積	6地区	9地区	
	ため池再整備(廃ため池)数 ※R2年度からの累積	0箇所	12箇所	
	主要林道舗装延長(累積延長)	3,010m	4,300m	
	担い手への農地集積率	19.1%	30%	
	農地中間管理事業による集積面積	184ha	340ha	
	鳥獣被害防護柵設置距離	505,627m	1,050,000m	
	有害鳥獣による農林水産物の被害額	7,007千円	5,200千円	

重点推進品目の生産量と産出額の目標

品目	R2年度(現状値)		R8年度(目標値)		
	生産量	産出額(千円)	生産量	産出額(千円)	
農 業	おおば	571t	1,453,909	610t	1,830,000
	にら	2,203t	1,185,962	2,300t	1,230,500
	みつば	589t	318,310	610t	445,300
	いちご	194t	222,031	220t	264,000
	水耕せり	142t	110,719	150t	158,250
	パセリ	36t	30,468	45t	56,250
	ピーマン	183t	78,409	320t	115,200
	乳用牛(生乳)	8,892t	1,053,490	10,500t	1,186,500
	肉用牛(和牛子牛)	123頭	82,940	190頭	125,000
林 業	木材	26,000m ³	300,000	28,000m ³	352,800
	乾椎茸	38t	146,946	48t	180,000
水 産 業	関あじ・関さば・イサキ	180t	220,550	200t	300,000

大分市農林水産部農政課 〒870-8504 大分市荷揚町2番31号

TEL (代表)097-534-6111 (直通)097-537-5628 FAX 097-534-6176 メール noseil@city.oita.oita.jp